

## 平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	宮田村食育 MogMog ママの薬箱事業
事業主体 (連絡先)	みやだ食育 MogMog 代表者 高橋智絵 住所：宮田村 7501 番地 11 TEL090-6154-1837
事業区分	保健、医療、福祉の充実に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	824,604 円 (うち支援金：659,000 円)

### 事業内容

食育MogMogの活動1年目として、主に保育園以下の保護者を対象に、「食の知恵」を地域の中で発見し、学び、味わう、体験型食育ワークショップを開催した。」その他、地域の方に講師を務めていただき、野菜作りや調理実習、村内加工所見学を実施した。

各テーマに沿った活動を推進し、活動の記録やレシピ等を冊子とパンフレットにまとめた。製作に際し、多くの住民の方に取材のご協力をいただいた。

また、宮田村の保健師や栄養士の協力や、子育て学級、子育てママサークルとの協働で行い、宮田村の地域づくり支援金を活用しながら実施した。



【食育ワークショップ】

### 事業効果

①地域の「食」について学んだことで、作り手の想いを知り、地元産食材、食品への購買意欲が高まり、地域活性化につなげることができた。

②上伊那の地場食材で実践する家庭の健康食事推進活動を推進するためのリーダーとして、次年度は新たに8名の方がスタッフとして加わることとなった。(来年度のスタッフ全14名) 長期的な活動に取り組む土台が構築された。

③食事に関する悩みを抱える母親の数は多いが、栄養士や保健師など専門機関に相談したり、正しい情報を得ようとする人が少ない。こんなことを相談できるのかという不安があったり、食の大切さが理解されていないという要因がある。私たち食育MOGMOGは同じ子育て中の母親目線で大事なことを伝えていくので、母親たちが情報を受け入れやすく、また悩みを相談しやすいという点で、家族の食を重要視してもらう機会を創出することができた。

④子育て中の母親たちが主体的に関わることで、横のつながりもひろげることができ、当初予定していた宮田村の枠を超え、伊那市や駒ヶ根など近隣市町村在住の方からも参加が多くあった。

### 【目標・ねらい】

- ①地域の食による体験型ワークショップ
- ②食育推進の地域リーダーの育成
- ③子育て世代への食育の推進
- ④広域的な参加

### ※自己評価【B】

【理由】  
内容的に充実したワークショップとテキストの作成ができた。  
参加組数を毎回20組見込んだが、平均15組程度となった。

### 今後の取り組み

- ・本年度作成したテキストにより、次年度以降も定期的に食育ワークショップを実践し、子育ての早い段階から食への関心持ってもらえるよう活動を推進する。
- ・JAや民間事業者、飲食店などと連携し、食育活動を推進していく。
- ・ママだけでなく、パパを対象とした講座や小学生など子どもを対象とした活動に繋げて行く。